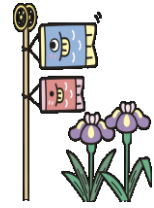




諏訪小だより



富士見市立諏訪小学校

令和2年5月11日 学校だより NO. 2
校長 庄司 政之

子どもたちがいない学校・・・5月を迎えました！

さわやかな5月を迎え、校庭の木々も新しい芽を出し日に日に緑を濃くしています。また、校庭のパンジーも色とりどりの花が咲き目を楽しませてくれています。この光景は毎年と同じなのですが、学校の校庭に子どもたちはいません。普段の何気ない光景が実は大切な日々で、幸せなことであることをあらためて実感しています。学校再開は早くても6月1日となり、保護者の皆様にさらにご負担をおかけすることになりますが、何とぞご理解・ご協力をお願いします。

「凡事徹底」(ぼんじてっい) ~何でもない当たり前のことを当たり前に行える子を育てる~

『イチロー選手にみる凡事徹底』

昨年引退した元メジャーリーガーのイチロー選手のエピソードです。記者が「今までに、これだけはやったなという練習はありますか？」という質問をしたそうです。その質問に、イチロー選手は、「高校生活の3年間、1日たったの10分ですが、寝る前に必ず素振りをしました。その素振りを1年365日、3年間続けました。これが誰よりもやった練習です。」とさりげなく答えたそうです。少しがんばれば達成できるような目標を設定し、そのためにやるべきことを、継続を条件に凡事徹底する。ひたすら当たり前のことを当たり前・・・まさに、小さなことの積み重ねが大成への道へ続くというお話でした。令和2年度のスタートに当たり私も今年の目標を決めました。もちろん、格段難しいことではなく、誰でもできそうなことですが、徹底してやり続けることを考えると、少しハードルが高かったかもしれません。

※このコーナーは、年間を通じて「凡事徹底」に関わる記事を掲載します。

このようなときだからこそ・・・時間を大切に！

すべての人に平等に与えられているもの、それは「時間」です。日本でもアメリカでも、一日は24時間です。お年寄りも小学生も、みんな24時間です。たとえどんなお金持ちであっても、一日24時間以上の時間を手に入れることはできません。

現在コロナウィルス感染拡大防止のため、自宅にいる時間が長くなっています。こんなときだからこそ、このみんなに平等に与えられている時間をどう使うかが大事であると考えます。普段、だらだらと過ごしているとあつという間の一日ですが、勉強や読書などに集中して取り組むと、思いの外進めることができる上、あとの時間はゆっくりと自由に過ごせ、一日が長く感じられることがあります。一日24時間の中身をどのようにするかは、私たち一人ひとりが決めるのです。この一日一日の積み重ねが1週間になり、1か月になり、やがて1年になり、それが自分の人生となっていきます。さて、これから外出自粛のままゴールデンウィークは後半に入ります。ずっとお休みだからと言ってだらだらと過ごすことがないように各ご家庭でもご配慮ください。また、時間を大切に、このようなときのゴールデンウィークだからこそ、何か一つでもできることがあるといいと思います。



※引き続き児童の感染防止の対応策にご協力いただきますようお願いいたします。

- ・手洗い(手の消毒)、うがい、咳エチケット、毎日の検温
- ・感染拡大防止の3つの条件(3密)に配慮する

※学校再開初日の日程や持ち物等については、後日学校メールでお知らせします。

**がんばれ！
諏訪小の
子どもたち**